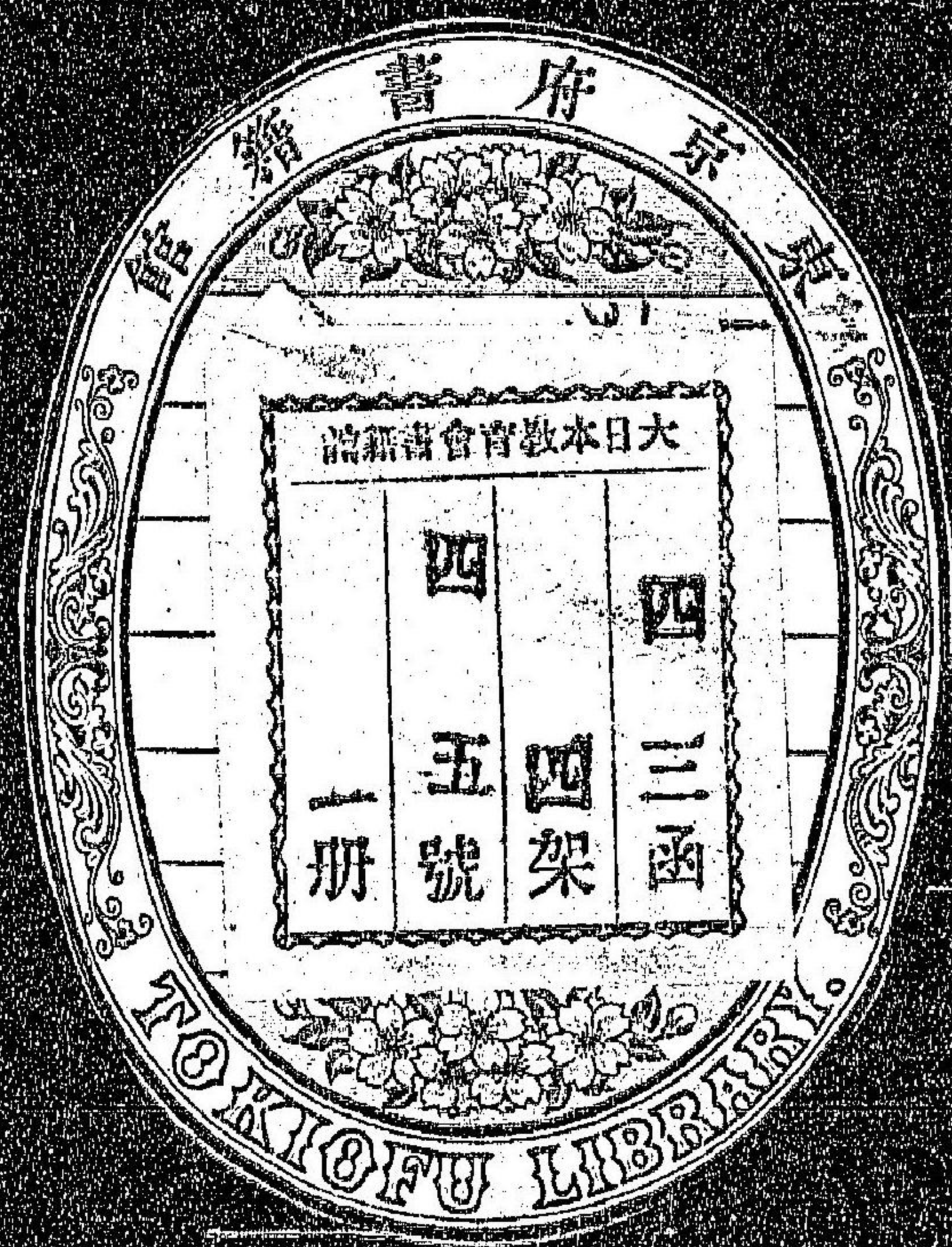


岡村邁編
小學化學書字引全



特57

786

055995-000-1

特57-786

小学化学書字引

岡村 邁/編

M11

CAJ-0351



國村邁編輯

小學化學書

梅原藏版

特57
786

凡例

一此書文部省小學生徒ノ爲

ニシ小學化學

書中ノ熟語物名等ヲ摘錄

施シ幼童誦讀

助スルモノナリ

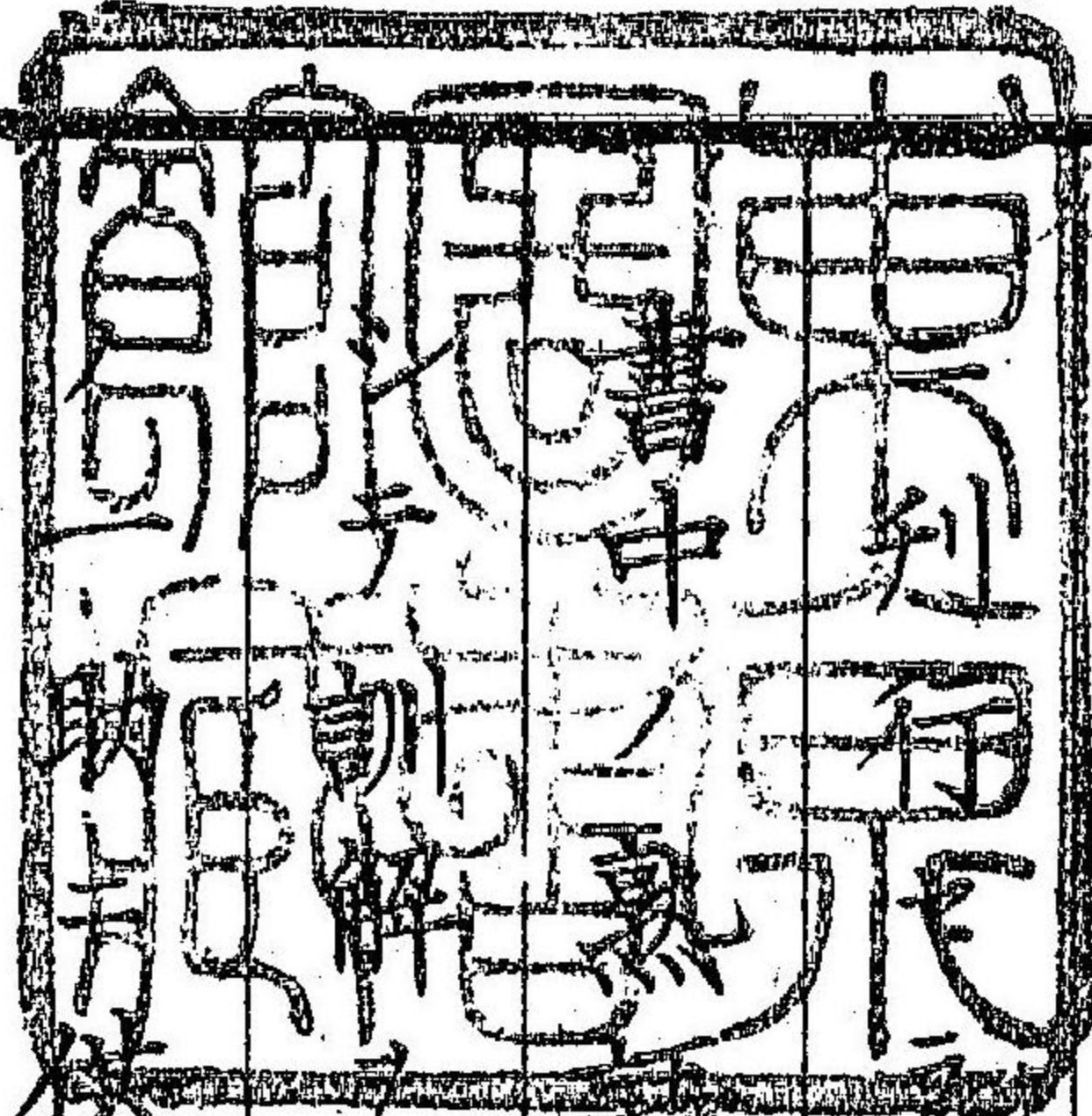
一金密陀硝石等ノ如キモノ

ニテ原本中ニ其異名成分

用方等ヲ記載セザルモノ

ハ逐一其下ニ細書ヲ以テ

テ注ス



一每字搜索ニ便ゼント欲シ
丁數或圈點ヲ以テ區分
ス

一解意ハ幼童ニ了解シ易カ
ラシメン為ニ勉メテ俚言
ヲ以テテス

明治十一年十月

編者識

廿一十

小學化學書卷之一字引

岡村 邁編

○第一回 火風水土

此四物ハ密人ノ能ク
知ル所ニテ今茲ニ其
學問ニ就テ舉グル
所ノ上ニ論ズ

丁一 萬有學 ○一端 ○吾輩 ○周

○圖 ○列 ○操 ○檢 ○究 ○實地

○就 ○術 ○試 ○驗 ○燃 ○景况

○草木 ○生長 ○化學 ○肝要

○畧 ○固體 ○液體 ○氣體

○意味 ○踏 ○圍 ○大氣 ○一

小學化學書 二

般○性質○諸質

○第一章 火

○第二回 蠟燭 起ル 燃ユル 所ヲ 論ニ

ズ

丁二 蠟燭 ○次第 ○減少 ○消滅

○漕 ○存在 ○砂糖 ○溶散 ○

甘味 ○消失 ○造化 ○設 ○發

現 丁三 第一試 ○細口瓶 ○清淨

○火炎 ○衰 ○狀勢 ○不可 ○

透明 ○石灰水 ○注 ○比 ○更

○變化 ○白濁 ○白堊 ○炭

酸 ○炭素 ○炭分 ○含 ○白紙

○炎上 ○覆 ○壓 ○環 ○著 ○

○第三回 蠟燭 起ル 燃ユル 所ヲ

生スルユト

丁四 熱 ○怪 ○簡易 ○蒸氣 ○上

升 ○衆人 ○鏡瓶 ○吹出 ○白

氣 ○指 ○至當 ○無數 ○細滴

○破瓶 ○煮 ○湯面 ○絶 ○湯

氣 ○乾 ○丁五 玻璃盃 ○曇 ○水滴

○一茶碗 ○聚 ○嘗 ○清水 ○

煤氣 ○記臆 ○了解 ○緊要 ○

忽コト畢ヒ竟マシ○圖ト○精キ密シ

○第二章 火

○第四回 其シ蠟ロウ燭ロウ始シ燃ネユレモ消シ滅ス

セザルコト

丁六 前ゼン條ジョウ○焚ソク○炭タン薪シン○悟ゴ○終シウ

日ジツ○少セウ許キョ○灰ハイ○殘ザン○發ハツ揚ヤウ 丁七

檢ケン出シュツ○前ゼン事ジ○玻ハ璃リ管カン○底テイ○

塞ソク○數ス孔コウ○穿セン○木ボク栓ゼン○挿サツ○

奇カ性セイ○數ス片ヘン○天テン秤シヤウ○一イツ盤パン○

分ブン銅ドウ○平ヘイ均クン○頂テイ○一イツ樽ソン○接セツ

○竹チク管カン○吞ドン口コウ○供キヤウ○桶トウ中チュウ○

送ソウ○補ホ○點テン○管クワン底テイ○流リウ通ツウ○

燭シヤク火カ 丁八 消セウ耗カウ○潛セン○逃トウ散サン○觸シヤク

○綱モウ中チュウ○捕ホ○化カ合カウ○化カ學ガク家カ

○酸サン素ソ○事ジ故コ○存ソン 丁九 秤シヤウ○減ゲン

○第五回 學ガク前ゼンビビ得トク試シ驗ケンココトトテ

論ズ

丁九 前ゼン方ホウ○至シ要ヨウ○物ブツ質シツ○滅メイ○

現ゲン○發ハツ明メイ○會クワイ得トク○要ヨウ用ヨウ○後コウ

來ライ○物ブツ理リ書ショ○熟ジュツ理リ○一イツ步ポ○

真シン 丁十 造ゾウ○他タ事ジ○應オウ用ヨウ○博ハク○

起キ

○第六回

物ノ化合スルト

丁十

生石灰

一塊ノ鑛板ノ載

○沸騰

○視

○白粉

灰

○小玻璃瓶

○硫黄

光輝

○鏡臺

○燈火

丁十

○破裂

○受

○熔

○灼

○備

○滴

○墜

○碎

黒塊

○化合物

○待

○第七回

熊試ニ由テ弊ビ

○家屋

丁十

前試

○同

○第三章 風即大氣

○第八回 大氣ノ成立ヲ論ズ

丁十

○振

○指間

證據

○木葉

○雲霧

○動搖

○猛烈

○樹

○第九回 大氣内ニ含ム物ヲ論ズ

丁十

○鐘形

○玻璃器

○浮

○燐

○附木

○傷

○被

○暫時

○摸樣

○分量

○膠

○兼有

○酸素

○窒素

○大切 ○歎賞 ○道路 ○平坦
○明了 丁吉 從事 ○丁寧 ○進

○第四章 大氣

○第十回 人ノ大氣ヲ起
ルコトヲ論ス

丁吉 他物 ○素形 ○水素 ○吹

滅 ○諸動物 ○生活 ○就中 ○

新氣 ○窒 ○辨 丁吉 災難 ○説話

○往々 ○暴風 ○逢 ○波濤 ○

打入 ○沈没 ○船窓 ○他孔 ○

蜜閉 ○鑛坑 ○省井 ○籠 ○單

簡 ○竹管 ○肺中 ○濁 ○人體

丁吉 執 ○壁 ○暖 ○犬猫 ○一旦

○息 ○斷 ○生機 ○作用 ○咽

○降 ○至微 ○細管 ○網狀物

○血液 ○薄網 ○混 ○炭素 ○

木片 ○恰 ○丁吉 同量 ○総身 ○

廣 ○酸化 ○挾 ○徧 ○運環 ○

普 ○廣布

○第五章 大氣

○第十一回 植物ヨリ大氣

ニ受クル所ノ

六

六

六

丁大 一片 ○ 潤 ○ 苺子 ○ 菜種 ○

播 ○ 日光 ○ 芽 ○ 數日 ○ 莖葉 ○

○ 成長 ○ 資 ○ 種子 ○ 植物 ○

形體 ○ 必要 ○ 吐 ○ 淺皿 ○ 盛 ○

○ 室內 ○ 戶外 ○ 移 ○ 薄 ○ 白 ○

皮 丁丸 良 ○ 經 ○ 少量 ○ 滋養 ○

主要

○ 第十二回 植物ノ生長

丁丸 木質 ○ 果實 ○ 營造 ○ 疑問

○ 綠葉 ○ 一束 ○ 吸 ○ 井水 ○

氣泡 ○ 倒 ○ 強 ○ 曝 ○ 注意 ○

窺 丁子 純 粹 酸 素 ○ 分解 ○ 游離

○ 綠色 ○ 暗所 ○ 生長 ○ 反覆

○ 第十三回 活動ノ植物ノ平均

丁子 至要 地球 上 ○ 遺漏 ○ 詳

論 吸 入 ○ 呼 出 ○ 不 潔 ○ 吸

取 復 ○ 平均 ○ 西洋 ○ 玩物

○ 玻璃 ○ 外氣 ○ 流通 ○ 體質

○ 第六章 水

○ 第十四回 水ノ由テ成ル

丁子 融 ○ 煮 沸 ○ 電 氣 ○ 數 滴 ○

導○電池○四箇○銅線○漏

斗○貫○白金線○繫○泡泣

○泡縮○大指○爐餘○光

炎○後章○淡青色○揚○數

細○種々○異物○積

○第十五回 得水ヨリ尚數ヲ

○第十六回 水素ヲ聚メ取

○第十七回 他ガヲ以テ水素

○第十八回 水素ノ燃ユル

○第十九回 水素ノ燃ユル

○第二十回 水素ノ燃ユル

○第二十一回 水素ノ燃ユル

○第二十二回 水素ノ燃ユル

○第二十三回 水素ノ燃ユル

○第二十四回 水素ノ燃ユル

○第二十五回 水素ノ燃ユル

○第二十六回 水素ノ燃ユル

○第二十七回 水素ノ燃ユル

○第二十八回 水素ノ燃ユル

○第二十九回 水素ノ燃ユル

○第三十回 水素ノ燃ユル

○第三十一回 水素ノ燃ユル

○第三十二回 水素ノ燃ユル

○第三十三回 水素ノ燃ユル

○第三十四回 水素ノ燃ユル

針金 ○ 刺 ○ 點 ○ 急 ○ 輕 ○

徐々 ○ 傾 ○ 內氣 ○ 爆鳴 ○ 仰 ○

○ 通常 ○ 萬物 ○ 輕氣球 ○

○ 第十九回 水素燃エテ水ヲ生ズルコト

○ 代 ○ 峽 ○ 直管 ○ 曲管 ○ 直管末 ○ 純水素 ○ 露 ○ 內面 ○

○ 管末 ○ 純水素 ○ 露 ○ 內面 ○

○ 溜 ○ 煤 ○ 方法 ○ 諸學科 ○ 関

○ 係 ○

○ 第八章 水

○ 第二十回 水ノ成分

○ 丁字 ○ 成分 ○ 混合 ○ 比例 ○ 二容

○ 積 ○ 重 ○ 混雜 ○ 測 ○ 精密

○ 緊要 ○ 費 ○ 精 ○ 倣 ○ 專 ○

○ 屢 ○ 親 ○ 容易 ○ 硬 ○ 具 ○ 充

○ 黑色酸化銅 ○ 四変許 ○ 固 ○

○ 端 ○ 塩化 ○ 通過 ○ 裝置 ○ 酸

○ 化銅 ○ 重量 ○ 手帳 ○ 組立

○ 全器 ○ 器械 ○ 微炎 ○ 火酒

○ 燈 ○ 全部 ○ 蒸發 ○ 悉 ○ 吸收

○ 存 ○ 赤粉 ○ 掲 ○ 發揚 ○ 觀

○ 兩數水素 ○ 一元素

小學化學書卷之一字引畢

小學化學書卷之二字引

岡村 邁編

○第九章 水

○第二十一回 海中ノ鹹水
水トノ差別

丁一 衆人 ○海水 ○鹹 ○鹽 ○鹹

味 ○除 ○蒸餾 ○鹹水 ○外圍
○純粹 ○煮詰 丁二 淡水 ○飲料

造 ○泉 ○塩氣 ○帶 ○覺 ○舌 ○
○第二十二回 塩ノ試験

丁二 清淨 ○雨水 ○嬰粟粒 ○攪
和 ○硝酸銀 ○微妙 ○見過 ○

存否
○第二十三回 溶解及結晶

丁三 明礬 一ニ礬石ト云フ即硫
酸礬土加里其成分ハ

加里及水ナリ ○石膏 即硫酸
白堊 ○洗濯 ○結晶 二十錢

○熱湯 ○光輝 ○小塊 ○側面
吟味 ○膽礬 又石膽トモ云

及銅ト硫酸 ○硫酸銅 丁四 乳棒
攪 物品 ○水晶 其成分ハ

十

酸ナリ而シテ平ニ礬土酸化
鉄及酸化滿俺等ヲ含メリ
○礦石○大抵

○第十章 水

○第二十四回 雨ハ蒸餾水ナリ
ト云フ説

丁四 濕氣 ○ 凝 丁五 大洋 ○ 世界 ○

大仕掛 ○ 蒸餾器 ○ 一點一滴

○第二十五回 水中浮遊物及

丁五 湧 ○ 泥 ○ 汚物 ○ 汲 ○ 垢滓

○ 砂泥 ○ 瀝 ○ 瀝紙 ○ 圓形 ○

切 丁六 海綿 ○ 木炭 ○ 浮遊 ○

汚 藍

○第二十六回 硬水及柔水

丁六 清泉 ○ 陶器 ○ 浸入 丁七 陸地

○ 間斷 ○ 土地 ○ 岩石 ○ 種類

○ 河岸 ○ 人民 ○ 塩塊 ○ 柔水

○ 硬水 ○ 石鹼 ○ 凝固

○第二十七回 硬水ノ原由

丁七 細末 ○ 臧 ○ 和合 ○ 清澄 ○

洗 丁八 熱湯

○第十一章 水

○第二十八回 硬水ノ原由

水トナル

丁八 乳汁 ○ 反復 ○ 蒸散 ○ 粉末

丁十 水底 ○ 多量

○ 第二十九回 河ノ硬水ニ

丁十 純清 ○ 鏡瓶 ○ 藥罐 ○ 内面

○ 湯垢 ○ 蒸發 ○ 堅 ○ 御影石

○ 地方

○ 第三十回 都會ノ井水ハ

丁十 都會 ○ 雜 ○ 原由 ○ 歐羅巴

○ 人家 ○ 氷溜 ○ 貯 ○ 都府中

○ 不潔物 ○ 患

○ 第三十一回 諸氣類ノ水中

丁十 差 ○ 美味 ○ 淡泊 ○ 生活

吐吞 ○ 鯁 ○ 放 ○ 必要 ○ 溶在

○ 第十二章 土

○ 第三十二回 土ノ総論

丁十 了 ○ 混合 ○ 圍繞 ○ 包 ○ 成

立 ○ 繁雜 ○ 大畧 ○ 熱度

烈 ○ 堅鏡 ○ 爐中 ○ 崑石 ○ 山

麓 ○ 埋

○ 第三十三回 白堊ヨリ炭

丁十 石灰石 其性分ハ炭酸 大

理石 ○ 膏 ○ 塩化水素酸 丁十 周

○排他酸 ○證據
丁五 細粉 ○
水化石灰 ○土質

○第十三章 土

○第三十四回 酸素ノ製方

丁五 酸化水銀 ○堅固 ○管口 ○

装置 ○暗黒 ○光澤
丁六 餘燼 ○

續 ○減耗 ○消込 ○管端 ○逆

入 ○白物 ○抓 ○加之 ○化合

丁七 組立 ○一定 ○一證

○第三十五回 諸鐵ヲ酸化ス

コト

丁七 周圍 ○銅 ○鍍 ○銀 ○鉛 ○

亜鉛 ○馬齒形 ○磁鐵 ○

○鍍粉 ○紙 ○吸著 ○懸 ○分

銅 丁七 磁石

○第三十六回 鐵土ヲ糞物中ニ

丁八 青液 ○礪石 ○小刀 ○磨 ○銅

色 ○鶯色 ○鍍 又 ○附著 ○鍍

片 ○分離 ○醋酸鉛 丁九 鉛糖 ○

中央 ○沉 ○樹枝 ○繁茂

○第十四章 土

○第三十七回 石炭ハ何物ナリヤヲ論ズ

丁九 石炭 其成分ハ石炭ノ種類ニヨリテ少異アリト

虽氏大畧百分中七十五分ヨリ九十分ノ炭素ニシテ他ハ

灰分脂油 炭素 〇 礦山 〇 植物

丁十 上古 〇 後世 〇 在 〇 坑 〇 草

茎木葉 〇 痕跡 〇 存 〇 割 〇 木

理 〇 化成 〇 黒煤

〇 第三十八回 石炭氣ノ製

丁十一 西洋長煙管 〇 首 〇 盛 〇 濕

〇 粘土 元質陶土ニ同ジクシ

〇 黄色 〇 管末 〇 光炎 丁十二 通常

〇 家屋 〇 粗 〇 精製 〇 街道 〇

煉瓦 〇 一撮 〇 鋏板 丁十三 蓋 〇 灰

色 〇 餘分 〇 繩 〇 帆 〇 網 〇 塗

〇 朽敗 〇 營繕 〇 驚異 〇 紅粉

〇 紫粉 〇 美麗 〇 繪具 〇 製方

〇 初學 〇 理解

〇 第三十九回 石炭ノ用方

丁十四 要用 〇 文明 〇 製造 〇 工作

丁十五 極寒 〇 凌 〇 保 〇 頼 〇 百工

〇 農業 〇 木綿 〇 毛織 〇 耕作

〇 第十五章 土

〇 第四十回 石炭氣及炎

光明 ○ 氣燈 ○ 單易 ○ 烈光

○ 尋常 ○ 青炎 ○ 煙煤 ○ 熱灼

○ 侵入 ○ 管頭 ○ 徐外圍 ○

○ 燄外 ○ 燭心 ○ 蒸出 ○ 中心 ○

○ 第四十一回
ノ石炭由及其

預防方

○ 抗人 ○ 携 ○ 自然 ○ 破裂 ○

○ 大害 ○ 防 ○ 鍍網 ○ 潛 ○ 奪 ○

○ 網眼 ○ 透 ○ 安全燈 ○ 洩 ○ 人

○ 命 ○ 救 ○ 由縁 ○ 螺子 ○ 真鍮

○ 油入 ○ 窮理 ○ 人生必要

○ 第十六章
元素及化合物

○ 第四十二回
萬物ノ分ケテ

○ 理會 ○ 性能 ○ 窺 ○ 要務 ○

體質 ○ 宇宙間 ○ 單體

○ 第四十三回
元素及化合物

○ 元素 ○ 水素 ○ 炭素 ○ 酸素

○ 水銀 ○ 百方 ○ 食塩 ○ 亞兒加

○ タル化合物 ○ 塩素 ○ 硫酸 ○ 硫酸

○ 磷

○ 第四十四回
鐵屬及類鐵

○ 現在 ○ 希 ○ 應用 ○ 廢物 ○

○ 學也學書

姑 ○ 鑛屬 ○ 類鑛屬 ○ 外見 ○

緊要 ○ 玕素 ○ 錫 ○ 黃金 ○ 類

○ 狀

○ 第十七章 類鑛屬

○ 第四十五章 酸素ノ製方

○ 上表 ○ 順次 ○ 臭 ○ 四倍 ○

○ 過半 ○ 血液 ○ 温熱 ○ 保續 ○

○ 放熱 ○ 納 ○ 鑛匙 ○ 熔 ○ 眩

○ 第四十六章 水素ノ性質

○ 沼氣 ○ 沼池 ○ 混在 ○ 硝酸

○ 第四十七章 窒素及硝酸

○ 硝石 又 燻硝トモ云フ 即硝

○ 毒 ○ 室塞 ○ 細末

○ 酸味 ○ 腐蝕性 ○ 皮膚 ○ 爛傷

○ 中和 ○ 磁器 ○ 中性

○ 第四十八回 炭素

○ 金剛石 又 金剛鑽トモ云フ

○ 寶石 ○ 石筆 ○ 石墨 又

鉛トモ云フ 結晶スル一罕ニ

シテ其實ハ土ノ如キ者多シ

外観 ○ 一室 ○ 少許 ○ 白灰 ○

濃汁 ○ 強 ○ 元來 ○ 形勢 ○ 現

今 ○ 大變革 ○ 大理石

○第十八章 類鑛屬

○第四十九回 塩素○其製

方及性質

手 塩素 ○烈 ○吸入 ○人體 ○

害 ○天然 丁 日常 ○食物 ○調

理 ○酸味 ○稀 ○烈臭 ○咳救

○咽喉 ○喉腫 ○安素 ○火花

○白煙 手 褪 綿布 ○晒

○染 ○消失 ○市中 ○販 ○漂

粉 ○浸 ○深工

○第五十回 硫磺及化合物

手 竿 ○火藥 ○混合 ○近傍 ○

硫 化 鑛 ○朴 鑛 ○鑛 石 手 諸 技

術 ○自他 ○硫 酸 塩 ○芒 硝 朴 又

硝 酸 曹 達 ナ 即 ○硫 酸 鐵 ○綠

礬 其 色 青 ○硫 酸 銅

○第五十一回 磷ノ性質

手 特 生 ○骨 中 ○疎 ○殘 ○骨

灰 ○鏡 盆 ○載 手 米 粒 ○誤 ○

操 作 ○指 間 ○傷 ○紙 間 ○

扶 ○箸 ○濃 白 色 ○貯 手 摩 擦

○沓 ○履 ○槌 ○打 ○通 例 ○

早附木 ○ 剥 ○ 箱外 ○ 粗面 ○

粘著 ○ 存 ○ 燃

○ 第五十二回 珪素 ○ 玻璃 及 粘土

○ 珪素 ○ 珪酸 ○ 珪土 ○ 水晶

○ 粘土 ○ 煉瓦 ○ 瓷器 ○ 窯 ○

主要 ○ 畧論

小學化學書卷之二字引畢

小學化學書卷之三字引

岡村 邁 編

○ 第十九章 鑛屬

○ 第五十三回 鐵 其用

方及性質

丁一 風俗 ○ 必常 ○ 野蠻 ○ 免 ○

鐵道 過 蒸氣車ノ 經 ○ 諸多 機関

○ 巧 ○ 刀 又 ○ 天然 純鑛 ○ 青

銅 ○ 石 斧 ○ 石 刀 ○ 酸化 鐵 ○

銀 鍊 ○ 丁二 鍛 ○ 鍊 ○ 馬 脊 ○ 釘 ○

鋤 ○ 鋤 ○ 外 輪 ○ 擊 ○ 延 ○ 釜

○鋸擊 ○鑄鐵 ○摸型 ○鑄入

○鐵柵 ○大車輪 ○重器械 ○

鼓鞴 ○打延 ○脆 ○製鍊 ○鋼

○鑿 ○剃刀 ○礪 ○利刃 ○切片

○曝 ○鏡屑 ○稀硫酸 ○緩

瀝紙 ○稀薄 ○硝酸

○第五十回 アルミニウム 即粘

丁四 技巧 ○工技 ○便利 ○費用

○憾 ○礮土

○第五十五回 石灰ノ元素

丁五 珊瑚 ○推 ○吸取 ○溶液

沉澱 ○交代

○第五十六回 瀉利塩 元素

丁七 細線 ○薄片 ○白光 ○苦土

○塵 ○陶皿 ○瀉利塩 丁八 特現

○號火 ○光澤

第二十章 鑛属

○第五十七回 食塩ノ元素

丁八 石腦油 ○消失 ○貴重 ○通

俗 ○山塩 ○芒晶 ○土人 丁十 塩

化水素酸 ○揚發 ○酸性

○第五十八回 素

丁十 作用 丁土 壺 灰 ○ 元来 ○ 木灰

○ 硬石 鹼 ○ 軟石 鹼 ○ 草麻子

油 ○ 苛性 ○ 丁土 撮 ○ 脂肪 ○

差別 ○ 一概

○ 第二十一章 鑛屬

○ 第五十九回 銅及其化合物

丁土 藥罐 鍋釜 ○ 針金 ○ 朴鑛 ○

純精 丁土 重寶 ○ 合鑛 ○ 真鑛 ○

青銅 ○ 硝酸銅 ○ 鑒定

○ 第六十回 亜鉛及其用方

丁土 濕氣 ○ 鏽 ○ 硫化亜鉛 丁土 單

體 ○ 薄板

○ 第六十一回 錫及其製方

丁土 白鐵 ○ 酸化錫 ○ 純粹 丁土 淺

穿 ○ 吹火管 ○ 炭基 ○ 炭

○ 第六十二回 鉛及其化合物

丁土 逢 ○ 掩 ○ 炮彈 ○ 硫化鉛 丁土

鉛粉 彩色陶器 釉藥 = 佳ナリ

其他用多シ人 ○ 鉛丹 無定形

彩色料 陶器 釉藥 トス 或 鉄器

ニ塗リ 藥品 ○ 金蜜陀 又 鏡滓

○鉛糖 其味酸甘 水中溶解

多引火 奴綿布ヲ染ムルニ用キ又

藥品ニクロウム黄色料ヲ製

○顔料 ○黒鉛 ○鮮美 ○沉澱

○第六十三回 水銀ノ用方

○第六十四回 銀ノ性質

○輕重 ○玻璃鏡 ○藥料

○丁七 貴重 ○鑄 ○古代 ○高價 ○

○銀幣 ○通用 ○雜丁六 摩滅 ○微

○熱子 ○轉用 ○檢出 ○沉澱 ○青

綠色 ○磨 ○浸

○第六十五回 黄金ノ用方

○丁九 美黄 ○金箔 ○諸般 ○滅金

○金幣 ○強酸 ○混同 ○各目

○黄金 ○貨幣 ○飾物

○第十二章 結尾

○第六十六回 諸物定量リタ

テ化合スルコト

○丁十 體質 ○萬類 ○分合 ○毫

○造出 ○要務 ○測定 ○重量 ○

○所在 ○比例 ○詳細 ○測

○誤

○算方 ○捕聚 ○化合量

○第六十七回 元素化合量

○最要 ○符號 ○簡便 ○全名

○洋名 ○首字 ○分析 ○餘分

○固有 ○倍数 ○深意 ○徒

○他重 ○算數上 ○書式 ○符

○合書記 ○和數

○第六十八回 定量倍数ヲ以テ化合ス

ルコト

○異類 ○性形 ○異性 ○最後

○暗記 ○記號 ○上側 ○數字

○推 ○同理 ○中間 ○全量 ○

○殘離 ○二大則

○第六十九回 化合式ノ理

○諸章 ○規則 ○事故 ○新物

○幾何 ○化生 ○受器 ○過不

○及 ○何程 ○倍量 ○混合 ○全

○量 ○明白 ○總計 ○費耗 ○

○會得 ○算計 ○生徒 ○諸他 ○

○離合 ○一回 ○了解 ○一目瞭

○然 ○性能 ○究 ○從來 ○勉勵

○刻苦 ○集成 ○分解 ○永久變

場 ○ 一定不變 ○ 法則 ○ 遵 ○

○ 附録

器械ノ用方並ニ試驗者

ノ心得

○ 豫 ○ 丁寧 ○ 指示 ○ 說示 ○

○ 奉守 ○ 清潔 ○ 手技 ○ 事理 ○

○ 教解 ○ 說論 ○ 簡明 ○ 當日 ○

○ 列置 ○ 混雜 ○ 英國高名 ○ 講

義 ○ 施用 ○ 準備 ○ 細時 ○ 成

否 ○ 關係 ○ 栓子 ○ 點檢 ○ 固

着混 ○ 亂 ○ 淨拭 ○ 藥品 ○ 故位

○ 腐蝕性 ○ 手 ○ 危 ○ 私室 ○ 猥 ○

採用 ○ 學術稍進 ○ 傍觀 ○ 一

編 ○ 監督 ○ 躬

本文ニ舉グル所ノ試驗

ノ心得

○ 厚紙 ○ 掩 ○ 新氣 ○ 侵入 ○

○ 陳氣 ○ 撼 ○ 靜定 ○ 上清 ○ 寧

○ 管 ○ 沸騰 ○ 注意 ○ 鮮明 ○ 慎

○ 氣泡 ○ 木燼 ○ 挿入 ○ 放冷

○ 金挾 ○ 滑澤 ○ 素燒 ○ 裝置

○ 收藏 ○ 徵 ○ 數回 ○ 反覆 ○

光澤 ○貯 ○石腦油 ○爆鳴 ○

危害 ○攪和 ○火酒燈 ○良好

○磁鏡 ○精良 ○不可 ○增加

○熟煉 ○生發 ○頰 ○膨脹 ○

間斷

試驗ニ用キル所ノ器械

目錄

一揃 ○玻璃罩 ○蜂巢形 ○

一挺 ○鑪 ○鑪粉 ○銅鍍屑 ○

一綴 ○鍍著

小學化學書卷之三字引 大尾

明治十一年十月十六日出版御届
同 十二月刻成

定價十貳錢

東京府平民

著者 岡村 邁

兵庫縣下播磨國第八大区
赤松郡姫路農人町三十番
地寄留

大阪府平民

出板人 梅原 龜七

大阪府第一大区八小區
備後町四丁目十一番地

